

備前県民局講演会での川島会長の講演 「ひきこもり—最も大切で・最も困難な問題」

誰でも、優しく、控えめで、自尊心に満ちた心で行動したいと思うのではないのでしょうか。しかし自分の思うようにならないと意地悪になり、その妨げになるものを取り除くためにでしゃばり、それを取り除くためには力のあるものに卑屈になってまで追従しようとする。これは誰でもが経験する一般的な心理でありましょう。どちらに、どの様に、どれ位より多く傾くかで、その人の人生の色合いが出てきます。

古来人間の性を善と考える性善説と悪と考える性悪説があります。今日の法律は性悪説を根底にして、悪の歯止めをするようにできているように思われます。従って人に見咎められない限り、どのような悪も悪ではなく、見破られない限り善にもなり正義にもなります。そしてそのようにして欲望が膨らみ、際限もなく肥大していく今日の状況を考える時、ひきこもる人々はその欲望の肥大化を悪臭に満ちた腐敗物に接することのように、生理的に拒否して、立ち止まり続けているように思われます。「ひきこもりとは欲望の肥大化を否定する積極的行為である」とは、10年以上前に私が人生経験の中で練り上げてきた言葉です。

講演会の時その言葉を正しく理解して頂いた方の発言により、成果の上がないようなあなた方の活動は考え直した方がよいのではないかと発言が否定されたので、今日の深刻な実情はそれなりに伝えられたのではないかと感じています。ただ欲望の肥大化によって飼いなされた人々の感性には、「優しく、控えめで、自尊心に満ちた心」などという表現は、虚偽に満ちた言葉遊びとしか映らないかもしれません。

とすれば、ひきこもってきた人々の実際のところを勇気をもって、"comming out"していきながら、その心意気を実践していく他に道はありません。それがかすかに見えてきた“あかり”であり、その“あかり”の入り口に到達しているわけではありません。県の職員は、まだのんきに予算の縮小を言い渡されていることを口実にして、縦割り行政の弊害を打ち破る勇気もなく、不正の温床を見逃しながら、肝心なところの健康を推進していく気構えさえ感じられないのが現状です。

行事 第15回 にぎわい市 出店のご案内と参加のお願い

毎年恒例の秋のにぎわい市が、下記の日程で開催されます。多数の皆さまの御参加で楽しいにぎわい市にしたいと思っておりますので、ご協力・ご支援よろしくお願いたします。

とき 平成26年11月16日(日) 10:15~14:00

ところ ソシオ一番街・アルネ東広場

内容 焼きそば・だんご汁・コーヒー・加工品販売

※当日は8時30分「トトロの家」に集合してください。

※出店の準備は前日15日(土)10時30分から「トトロの家」で行いますので、お手伝いをお願いいたします。

ご報告 「カラオケを楽しむ会」 少人数でしたが盛り上がりました

「カラオケを楽しむ会」の参加者は5人(若者1名)で少人数でしたが、その分、たっぷりと歌うことができ盛り上がりました。懐メロから最近の歌まで歌い、その時代のことも話題になりました。

こんなに楽しめるのなら、もっと多くの方に参加してもらえたらよかったですと思えるような会になりました。希望がありましたら、また企画しますので、ご意見を頂ければありがたいです。

1,500円の会費でしたが、若者への補助1,000円と部屋代不足分540円を若者会計から支出しました。

次回の若者活動 予定はボウリングですが 内容や時期などの御希望をお寄せ下さい

次回の若者活動は、ボウリングを12月上旬にしたいと思っておりますが、皆様のご希望を聞いて、ボウリングにするかどうかや時期などを決めます。11月の定例会で、最終決定しますので、それまでに藤本まで希望をお知らせください。若者には、1,000円の補助があります。